



あうんの呼吸

あうんの呼吸とは、気持ちが一致していること、心の通じ合った関係という意味から、お客様とスタッフで心をつなげて、ご満足いただける住みよい家作りをしていくという気持ちを込めました。

<今月のピックアップ>

☆リフォーム施工例

☆センスの良いお部屋をつくるインテリアスタイル

VOL. 36

(株)あうん工房

902-0066

沖縄県那覇市大道90-4

通話料無料の
フリーダイヤル

0120-72-4152



今回は、某施設の駐輪場と飾り棚の施工事例をご紹介します。
お住まいのリフォーム以外にもいろいろな工事を施工しています。

リフォーム施工例

BEFORE



AFTER



駐輪場を造作しました。
整然としていると気持ちいいですね♪



あうん工房では、いろいろな工事を施工しています。
お気軽にご相談ください♪

AFTER

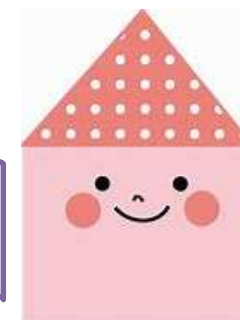


AFTER



飾り棚を造作しました。
トロフィーや盾、優勝旗をライトアップ
できるようにしました。
カッコよく出来上がりました♪

センスの良いお部屋をつくるインテリアスタイル



新築やリフォーム後はセンスの良い部屋にしたいと思う人は多いはず。
そこで、インテリアを上手にまとめるための3つのポイントをご紹介します。



<ポイント1>まず、どんなイメージの部屋にしたいか考えましょう。

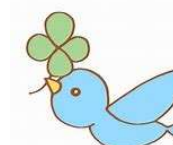
イメージするのに1番簡単な方法は、インテリア雑誌やカタログなどから自分や家族の好みの写真を集めて、自分たちの思うセンスの良い部屋のイメージを決めましょう。

<ポイント2>自分たちの好みのインテリアスタイルを決めましょう。

好みのイメージがみつかったら、それがどんなインテリアスタイルかチェックしましょう。
早い段階でインテリアスタイルを決めておくと、それをベースに家具やカーテン、ラグマットなどを選ぶため、お部屋の統一感が出しやすくなります。さらに家具のショッブ店員やインテリアコーディネーターとイメージを共有し、意見を取り入れることもできます。
代表的な4つのインテリアスタイルをご紹介します。

*ナチュラルスタイル

自然の木の色や素材感を活かした
明るくカジュアルな印象のスタイル。
色はベージュやオフホワイトなど
のアースカラーを中心にして、
ツヤのないマットな質感の物がおすすめです。



*シンプル&モダン

シャープで都会的、機能的な雰囲気スタイル。
色は白やグレーなどの無彩色を基調とし、
直線を活かしたデザインや金属やガラスなどがよく合います。

*和モダン

和を現代風にアレンジしたスタイル。
木や紙、石など自然素材のもつ質感や色みと
垂直、水平ラインを活かしたデザインが特徴。
明るいアースカラーでまとめて、
アクセントに深めの色を合わせるのもおすすめです。

*クラシック

ヨーロッパの古典様式を取り入れた
格調高い印象を与えるスタイル。
家具や床にはダークカラーの木を用いて
重厚感を演出し、レースやフリル、シャンデリアなど
優美なアイテムを組み合わせるのがおすすめです。

<ポイント3>インテリアスタイルに合う内装材や家具などを選んでいこう

部屋をセンス良く見せる基本は統一感なので、インテリアスタイルが決まったら、そのスタイルに合う内装材や家具を選んでいきましょう。完璧に統一すると堅苦しい印象になってしまうので、コツは7～8割程度同じスタイルでまとめて、残り2～3割にアクセントとなるアイテムを使う事です。このバランスでコーディネートすると自分らしさのある寛げる空間になります。

☆カーテン、ブラインド、ロールスクリーンの選び方

選ぶときのポイントは、部屋のテイストに合う形状や色・柄であることがセンスの良い部屋に仕上がるポイントです。例えば、ナチュラルな印象の空間なら、天然繊維の布地のカーテンやウッドブラインドがおすすめです。また、モダンな印象の空間には、シンプルでシャープな形状のロールスクリーンやブラインドが合います。

部屋の快適性をアップするために機能面もさらに考慮して選ぶと良いです。例えば、人通りの多い道路に面する窓には、プライバシーを守るために透けにくい素材のものを選んだり、不快な臭いを抑える消臭、抗菌効果や汚れがつきにくいように防汚性を高めたものを選ぶなど、目的に合わせて選ぶと良いでしょう。



☆家具の選び方



ソファやダイニングセット、ベッドなどの家具は部屋の中でも特に存在感があるため、インテリアのイメージを決定する重要なアイテムです。上手な選び方と部屋を広く見せる配置のポイントもご紹介します。家具を選ぶ際は、インテリアテイストに合うものを選ぶようにしましょう。例えば、シンプル&ナチュラルスタイルなら木質感のある素材とゆるやかなフォルムのデザインの家具がマッチします。モダンスタイルならスチールやガラスなど硬質な素材で直線を活かしたシャープなデザインのものが合います。部屋を広く見せたい場合は、圧迫感を与えないようにできるだけ背の低い家具を選ぶと良いです。さらに壁と同じような色合いのものを選ぶと壁と一体化してより広く見せることができます。そして、部屋の入口から奥に向かって家具の高さが低くなるように置けば、奥行きが強調されて広く感じられます。

☆床・天井・壁の色や素材の選び方

床・天井・壁で使う色は、部屋の大半の色を占めるので「ベースカラー」と呼ばれます。部屋の印象を左右するので、家族が心地よいと感じる色を選ぶと失敗がないです。それぞれの色を決める基本ルールは、床⇒壁⇒天井の順に明るい色にすること。明るい色の方が軽く感じられるため、天井が高く開放的な印象を与えます。一方、床よりも壁や天井を濃い色にすると個性的ではあるが圧迫感のある感じになります。

また、床や壁は肌に直接触れる部分でもあるので、肌触りが良い素材を選ぶのがおすすめです。肌ざわりが良い素材として代表的なものが、むくフローリングや紙や布の壁紙など自然素材で作られたものです。これらのナチュラルで自然な色合いはリラックス感を与えるうえ、調湿効果や吸音効果なども得られます。

部屋を広く見せる色・柄の選び方は、壁や天井の色は後ろに下って見える後退色の白やうすいブルー、グレーなど寒色系を選ぶと効果的です。反対に前に迫って見える進出色のオレンジや赤などを選ぶのは避けた方が無難です。柄物の場合は、小さい柄の方が大きい柄より遠くにあるように見えるので、部屋に広がり感が生まれます。また、横ストライプなら広がり感はあるが天井が低く感じられ、縦ストライプは天井が高く感じられるが狭い印象になります。

壁にアクセントをつけたい場合、壁の下半分に板材の腰壁を張ったり、壁の一面だけ異なる色や柄を選ぶなどの方法があります。また、壁の一部をくぼませたニッチに観葉植物や雑貨などを飾っても良いでしょう。天井なら中央部分だけを高くした折上げ天井にし、さらに照明も組み込んだりすればアクセントになる上、広々感も演出できます。

ぜひ、マイホームを自分好みの心地良い空間にしてくださいね♪

